

ANIMAL WELFARE,
MULESING AND WOOL

動物福祉、
ミュールジング
とウール

ミュールジングにつ
いて

ミュールジングとは、フライ・ストライクと呼ばれる羊の臀部に寄生するハエの被害から、羊の健康とより良い生活を生涯にわたって守るために、一度だけ行われる外科的処置です。ミュールジングでは、羊の臀部（尾の周辺領域）の余分な皮膚を素早く取り除きます。オーストラリアにおいて実施されるミュールジングのほとんどは、麻酔薬と鎮痛薬を使用して行われます。



羊の生涯福祉の手段として、なぜミュールジングが行われるのか？

ミュールジングを行うことにより、羊の臀部周辺の湿ったウールにクロバエ・ニクバエが産卵する機会が減り、羊の深刻な福祉問題であるフライ・ストライクのリスクが大幅に削減されます。

フライ・ストライクとは？

羊のフライ・ストライクは、湿ったウールに寄生性のクロバエ・ニクバエが産卵することによって起こり、通常は臀部周辺に発生します。孵化したクロバエ・ニクバエの幼虫は、羊の毛や皮膚の下に潜り込んで肉を食べ、敗血症の原因となります。羊にとって耐え難い痛みを引き起こすだけでなく、手当されなかった場合は、死に至ることもあります。

オーストラリアにおいてミュールジングがなぜ行われているのか？

クロバエ・ニクバエは、誤ってオーストラリアに持ち込まれた寄生性の害虫です。育種を始めとした家畜管理実務の発展により、オーストラリアにおいて飼育されている羊の一部では、ミュールジングの必要がなくなりました。実際に、オーストラリアは他のどの国よりも多くのノンミュールジングのメリノウール(<24.5ミクロン)を輸出しています。しかし、毎年発生するフライ・ストライクのリスクから羊を保護する必要性から、ミュールジングが生涯福祉の手段として、行われている羊もまだ存在しています。

ミュールジングに対するオーストラリアの牧羊業者の姿勢は？

オーストラリアの牧羊業者は、世界最高級のウールは幸せで健康な羊から生まれることを知っています。彼らにとって、オーストラリアの羊の生涯福祉は最優先事項です。

ミュールジングは重要な福祉手法として存続していますが、オーストラリアの牧羊業者は長期的な解決策の革新と追求を続けています。オーストラリアの羊毛産業界は、牧羊業者が科学的な研究開発に基づいた、動物福祉の改善に向けたフライ・ストライクの予防に関する最先端のベストプラクティスを活用できるようにしています。

オーストラリアでミュールジングがなぜ禁止されていないのか？

オーストラリアの動物福祉法における優先事項は、フライ・ストライクを含めて、健康と福祉に対するリスクから羊を守ることです。オーストラリアの動物福祉法は、利用可能な代替法が無い場合に、羊を保護するためにミュールジングが必要であることを認めています。

牧羊業者がミュールジングへの依存を減らせるように、ザ・ウールマーク・カンパニーはどのような支援をしているか？

現在までに、ザ・ウールマーク・カンパニーの親会社は、英国王立動物虐待防止協会 (RSPCA) およびオーストラリア獣医師会 (AVA)、そして他の主要な研究機関と密接に連携して、フライ・ストライクとの闘いとミュールジングの代替法の発見に4,160万オーストラリアドルを投資してきました。

主要な投資の対象としては、フライ・ストライクに耐性のある羊の育種に関する科学研究、麻酔薬と鎮痛薬、ワクチン接種、最良実践手法、管理実務、そして教育や普及のプログラムが挙げられます。



ミュールジングの代替法はあるのか？

オーストラリアの牧羊業者は、究極的な目標としてミュールジングへの依存の軽減を、当面の目標として動物福祉を改善させる実践の提供を目指して努力しています。

- ミュールジングの際の麻酔薬と鎮痛薬の使用はオーストラリアの牧羊業者により広く採用されており、2006年には0%でしたが、2020年には86%以上の牧羊業者が使用しています。
- ザ・ウールマーク・カンパニーの親会社により進められている最新の研究プロジェクトは、世界初のフライ・ストライク予防ワクチンの開発を目指したものです。この多相的な研究開発プログラムの第1段階は、2019年1月に開始されました。
- フライ・ストライクに耐性のある羊の育種は、ミュールジングへの依存を軽減させるために重要な長期的な解決策です。オーストラリアの牧羊業者は、羊の育種と選定に関する世界最大の科学的試験を開始しました。この10年に及ぶプロジェクトは2015年に始まり、多様な環境とメリノ種に関する生涯データを収集しており、羊の生涯福祉の向上に役立つ確固とした科学的なデータを提供しています。



詳しい情報については、science@wool.comまでメールでお問合せください。